

東京研修

(1)対象生徒：1年生希望者

(普通科男子6名女子2名、自然科学科男子11名女子11名 計30名)

(2)仮説

- ① 最先端の幅広い科学技術の展示に触れることにより、科学技術全般に対する興味関心を高め、探究心を育てることができる。
- ② 調べたことを発表したりまとめたりすることにより、発表能力を身につける。
- ③ 最先端の研究を行っている施設を見学し、興味関心を高め、自主的に科学に取り組む姿勢を養い、自らの希望進路を考える機会とすることができる。

(3)方法・内容

日時：令和元年8月26日(月)～28日(水)

場所：8/26 日本科学未来館

8/27 国土地理院 地図と測量の科学館

JAXA 筑波宇宙センター

土木研究所

8/28 先端生命医科学センターTWIns

国立科学博物館



研修内容

I. 事前研修

7/8 日程説明 科学未来館事前研修

7/18 パワーポイントを使った模擬発表

8/23 各施設再確認

II. 研修

・日本科学未来館

① 自由見学

② 班ごとに調べ学習、インタープリター(展示解説員)への質問
(以下は宿舎の会議室にて実施)

③ 発表ポスター準備、発表練習

④ 班ごとに PowerPoint による口頭発表(各班4分程度、プロジェクターにて投影)、
発表者に対する質問と発表についての評価

・国土地理院 地図と測量の科学館 ⑤見学ツアー参加及び自由見学

・JAXA 筑波宇宙センター ⑥見学ツアー参加及び班ごとでの調べ学習

・土木研究所 ⑦見学ツアー参加

・先端生命医科学センターTWIns ⑧模擬講義 ⑨施設見学

・国立科学博物館 ⑩自由見学

III. 事後研修

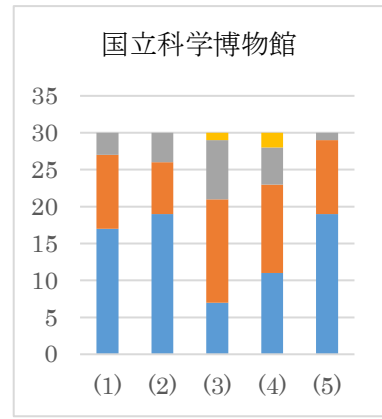
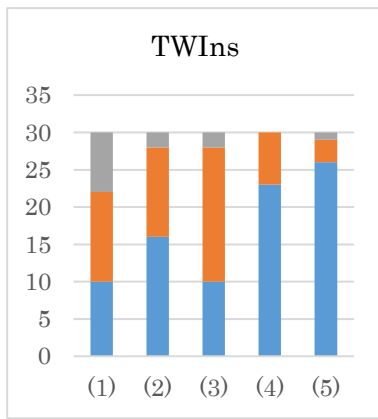
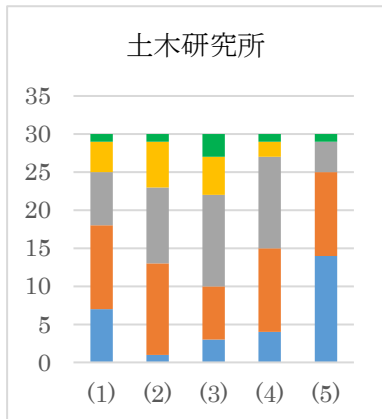
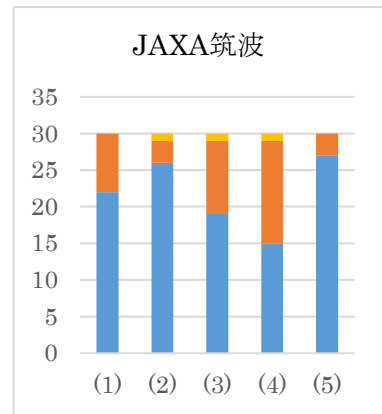
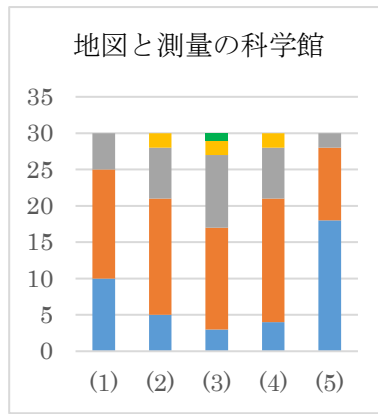
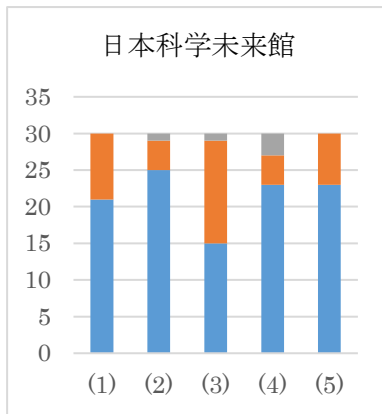
【実施後のアンケート結果】

■あてはまる ■ややあてはまる ■どちらともいえない ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

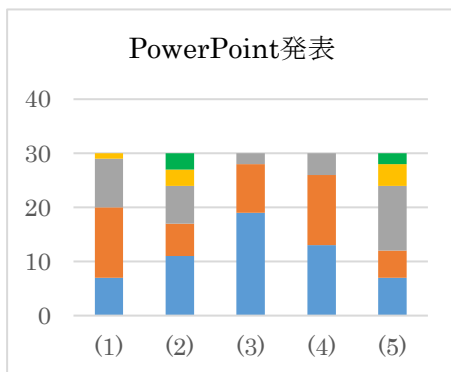
(1)内容を理解できた。(2)内容に興味を持てた。(3)その分野をもっと勉強したいと思った。

(4)進路を考える上で参考になった。(5)見学や活動の大切さを意識できた。





- (1)事前の準備がよくできていた。 (2)インタープリターに納得いくまで質問できた。
 (3)班員と協力できた。 (4)PowerPoint はうまくできた。 (5)質問にうまく答えることができた。



(4)検証

感想に「今まで興味がなかった分野に興味湧いて、視野が広がった」、「進路選択の参考になった」といった内容を書いている生徒が多数いた。昨年よりも研修先を増やし、様々な分野の研修ができるように計画したことで生徒の興味を広げることができた。

アンケートの結果から JAXA 筑波宇宙センターの充実度が高いことがわかる。多くの生徒が宇宙事業へ関心を持っているようであり、今後さらに研修内容を工夫することでより深い学びにつながることを期待できる。

PowerPoint を用いた発表は、1年生なのであまり経験がなく、パソコンの操作に苦戦しているようだったが、その分班員同士協力して作業できたようである。また、人前で発表することも生徒にとって良い経験となった。

